

## ロシアの行動に対しての抗議表明と、ウクライナ支援のお願い

### ■ [「私たちはロシアのウクライナ侵攻に抗議します。」](#)（岡山医療生協サイトへ）

2022年2月24日、ロシアが隣国ウクライナへの軍事進攻を強行しました。

これは他国の主権と領土を侵害し、多くの人々の「いのち」と「健康」を危険にさらすものです。私たちはロシアの行動に対して強い憤りと抗議を表明します。

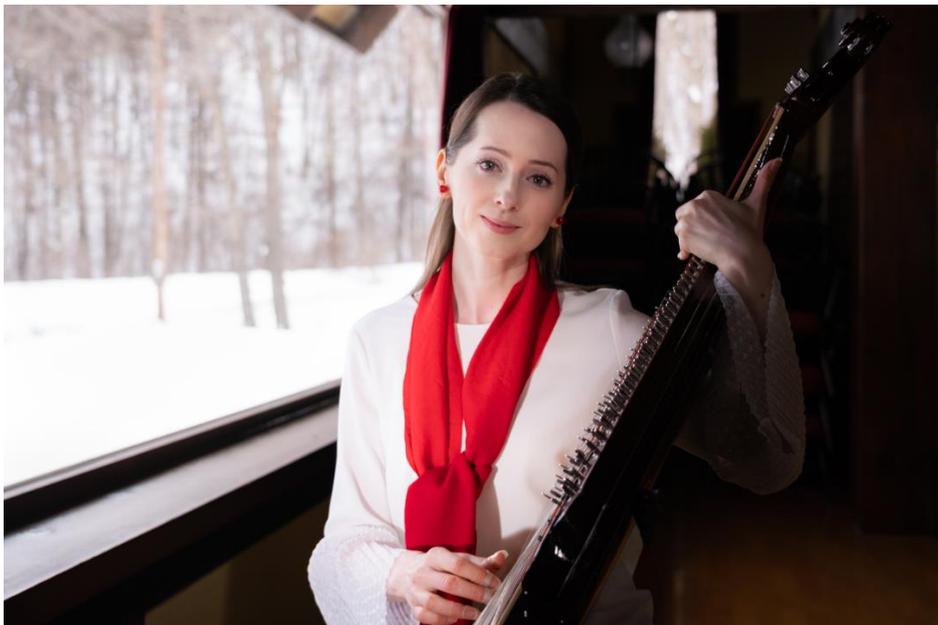
岡山医療生活協同組合 理事長 高橋 淳

### ■ [ユニセフ「ウクライナ緊急募金」](#)（公益法人日本ユニセフ協会サイトへ）

日本ユニセフ協会では2月25日より「ウクライナ緊急募金」の受付を開始し、ウクライナ国内および周辺国での子どもたちへの募金を呼びかけています。

岡山医療生協においても人道支援募金をおこなっており、病院や診療所、介護事業所にも募金箱を設置しています。

## ナターシャ・グジーさんからのメッセージ



ウクライナ出身

歌手・バンドウーラ奏者

## 岡山医療生活協同組合の組合員のみなさまへ

生まれ育った故郷が、戦争という恐ろしい現実には直面しています。私は22年前に来日し、以来、ウクライナのことを音楽で表現し、伝えてきました。豊かな自然、美しい町並み、それがいま破壊され、人々が傷つけられています。小さな子どもたちが、「戦争が早く終わってほしい、死にたくない」、そんな言葉を口にする。この遠く離れた日本で、私が目にし、耳にしているものは、私の伝えてきたウクライナと違って、現実とは思えない。キエフや近郊の家族、友達に連絡がついて、無事が確認できるとホッとしますが、電話を切るとすぐ、また心配が募り始めます。

私は音楽家です。音楽家はどんなときも、音楽の持つ大きなチカラを信じ、表現し発信することが使命です。私はこれまで、音楽に何度も救われ、勇気づけられて生きてきました。今度は私が、この音楽のチカラを、この現実には心を痛めている人々にも届けたい。

2014年に「希望の大地」という曲を作りました。ウクライナは困難をのりこえて、子どもたちの笑顔が輝く未来へと向かう、という想いを込めた曲です。この曲は、私の中ではこれから復興へ向かうウクライナへの応援歌です。大切に歌っていきます。もう1曲、小椋佳さんに頂いた「命はいつも生きようとしてる」という曲は、山形県長井市の春の桜のなかで歌いました。

音楽を通じて、この歌のように「できれば、より善く より美しく」生きたいと思います。

心の底から平和を願って、

ナターシャ・グジー

## 演奏動画公開



希望の大地（作詞・作曲 ナターシャ・グジー）

※画像をクリックすると動画ページへ移動します。

※動画が再生されない場合は、下記 URL より閲覧ください。

URL [http://okayama-health.coop/user/media/okayama\\_houzin/page/index/video01.mp4](http://okayama-health.coop/user/media/okayama_houzin/page/index/video01.mp4)

※ナターシャ・グジー公式 YouTube でも閲覧可能です。

URL <https://youtu.be/0IT5SNCRWLA>



命はいつも生きようとしている（作詞・作曲 小椋 佳）

※画像をクリックすると動画ページへ移動します。

※動画が再生されない場合は、下記 URL より閲覧ください。

URL [http://okayama-health.coop/user/media/okayama\\_houzin/page/index/video02.mp4](http://okayama-health.coop/user/media/okayama_houzin/page/index/video02.mp4)

※ナターシャ・グジー公式 YouTube でも閲覧可能です。

URL <https://youtu.be/EaDVwFePUIU>

## ナターシャ・グジー(Nataliya Gudziy)さんプロフィール



ウクライナ生まれ。

ナターシャ6歳のとき、

1986年4月26日未明に父親が勤務していたチェルノブイリ原発で爆発事故が発生し、原発からわずか3.5キロで被曝した。その後、避難生活で各地を転々とし、キエフ市に移住する。

ウクライナの民族楽器バンドウーラの音色に魅せられ、8歳の頃より音楽学校で専門課程に学ぶ。

1996年・1998年救援団体の招きで民族音楽団のメンバーとして2度来日し、全国で救援公演を行う。

2000年より日本語学校で学びながら日本での本格的な音楽活動を開始。

その美しく透明な水晶の歌声と哀愁を帯びたバンドウーラの可憐な響きは、日本で多くの人々を魅了している。

2005年7月、ウクライナ大統領訪日の際、首相官邸での夕食会に招待され、演奏を披露。

2016年7月、これまでの活動が評価され、外務大臣表彰を受ける。

コンサート、ライブ活動に加え、音楽教室、学校での国際理解教室やテレビ・ラジオなど多方面で活躍しており、その活動は教科書にも取り上げられている。